

## 【校訓】

やさしく かしくく たくましく

## 【教育目標】

相手の気持ちを思いやる子ども  
正しい判断ができる子ども  
あきらめず挑戦し続ける子ども

## 【学校スローガン】

楽しくチャレンジ 幸せ一小

## 子どもたちは毎日の学習や運動、特別活動 に着実に取り組んでいます

朝晩は気温も大分下がってきましたが、日差しが差し込むと温かい日々です。校庭の木々もきれいに色づいています。子どもたちには秋の深まりを感じながら、読書や外遊びをより一層楽しんでほしいと願っています。

学習発表会も無事終わり、どの学年の子どもたちも、一回り成長したように感じられます。スポーツ、読書、芸術など、この実りの秋に様々な体験を通して、子どもたちの心が豊かになることを期待しています。

**見学学習** 24日（金）に、5年生は見学学習を実施しました。社会科の学習との関連で日産自動車（株）小名浜工場の見学をしました。自動車の製造において、様々な工夫や努力について調べることができました。小名浜の三崎公園でも楽しく身体を動かしましたようです。

28日（火）は、3年生の見学学習を実施しました。社会科の学習の関連で夕月（株）を見学しました。かまぼこの製造について、教科書や資料集で学んだことを実地で確かめました。「いわき市子ども元気センター」でも楽しく運動遊びをすることができたようです。

スマホやタブレット等から情報を得ることは容易な世の中になってきましたが、視覚だけでなく、触覚や聴覚、嗅覚等、五感を働かせて調べていくことで実感を伴った理解を深めることができます。社会を動かしている様々な仕事について調べながら、人々に直接関わっていくことで、よりよい社会について考えたり、自分が社会の一員としてすべきこと等を考えたりすることになります。教育目標である「正しい判断ができる」よう支援していきます。



**読書のススメ** 10月下旬から、「図書館 秋祭 読書イベント」を開催しています。図書委員会児童や学校司書、担当の先生が「おはなしめいろ」「読書BINGO」「おしえて！本のたからばこ」「図書委員会による読み聞かせ」等々、児童がたくさんの本を読んだり、読書の幅を広げたりして、読書の楽しさを感じられるようにすることを目的として取り組んでいます。「校長先生のおすすめの本をかりました！」と喜んで報告してくれる子もいます。

先日、民間の教育研究所より、子どもたちの読書行動の実態に関する調査が発表されていました。それによると

- ① 読書時間の変化：読書を「しない」層が1.5倍に増加している。
- ② 読書時間の推移：読書時間は減少傾向、特に小4以上で減り幅が大きい。反面スマホの使用時間は大幅に増加し、スマホ時間が長いと読書時間は短い。
- ③ 語彙力・読解力との関連：読書時間が長い子どもほど語彙力が高い傾向。また、一定の時間の読書が読解力と関連がみられる。
- ④ 保護者の影響：保護者が学んでいると子どもも読書をする。また保護者が読書の大切さを伝えるほど子どもは読書をする。

等の調査結果がみられました。（※ベネッセ教育総合研究所）

本校では図書館を活用した読書活動の充実を通して、子どもの学ぶ力・判断する力を育もうとしています。ポケットさんや環境ボランティアの皆様にも大変お世話になっています。読書を楽しみながら、語彙力や読解力の向上、そして豊富な知識を得たり豊かな情操を育んだりしてほしいと思っています。ご家庭でも週末などの時間を使って、読書に親しんでください。

## 連絡

PTAの活動も活発に行われています。役員の皆様、いろいろとありがとうございます。来週末にはバザーも予定されています。地域の皆様も、様々なご支援ありがとうございます。